

12/28 加西病院サポーターの会 コロナ禍で奮闘する職員へ食品などを寄贈



▲生田院長にメッセージを渡す熊谷副会長（上）とメッセージが書かれた色紙（下）

加西病院サポーターの会（吉田廣会長）が、コロナ禍の中でも地域医療を守るために奮闘している職員を応援しようと、約400人分のカップラーメンやジュースを寄贈しました。併せて、感謝のメッセージを記した色紙を生田院長へ贈呈しました。

色紙は、会員たちが、同病院で手術や治療を受けた方たちから集めたものであり、命を助けてもらったり、救急でお世話になった多くの市民の感謝と激励の言葉が書かれています。

熊谷佳代副会長は「コロナ禍の大変な中、職員の皆さまには地域医療を支えていただき感謝を申し上げます。メッセージはお世話になった方々の思いが詰まっています。メッセージを見て頑張ってください」と話されました。生田院長は「皆さんの声を励みに頑張っていきます」と述べられました。

タウンピックアップ

12/12 ~ 13 鶉野飛行場跡周辺で アート作品展&パフォーマンスを披露



▲アート作品とパフォーマンス

機銃座跡と爆弾庫跡で、アート作品展示とパフォーマンスを披露しました。アートは、芸術家むにぶちみきさんの作品で、戦時中に残された家族に焦点をあてたものです。パフォーマンスは、鶉野の歴史とアート作品から即興で演奏とダンスを行い、人々の苦悩を表現しました。2日で約110の方が訪れ、コロナ感染症対策としてパフォーマンスのライブ配信も行われました。

12/19 ~ 20 ハッピーバルーンクリスマス



▲搭乗体験を楽しむ参加者たち

クリスマスに気球イベントを開催。気球に乗ったサンタクロースからお菓子のプレゼントや搭乗体験、気球教室を行いました。夜は、音楽に合わせてバーナーの炎で美しく光るバルーングローを実施。フィナーレには、花火が夜空を彩り2日間で約5,000人が来場しました。コロナ禍の中、みんなが上を向いて頑張っていこうと思える時間となりました。

広告

広告

1/7 赤十字奉仕活動への功績をたたえて



▲左から橋本さん、玉田さん、谷勝会長

日本赤十字社兵庫県支部が、加西市赤十字奉仕団に、支部主催事業への協力または奉仕団大会を積極的に実施している奉仕団として、奉仕功労特別感謝状を贈呈しました。また、赤十字奉仕活動が顕著であった大豊洋子さんには地域奉仕団員の部で金柀感謝状を贈呈しました。谷勝会長は「奉仕の精神を大切にしてくださいこれからも活動していきたい」と話されました。

1/8 下里小 新春書き初め大会



▲課題「希望の朝」を集中して書く児童たち（6年）

下里小学校で、恒例の書き初め大会が行われ、全児童 155 名が日本の伝統文化の大切さを学びました。限られた時間で張りつめられた空気の中、心を落ち着けて集中し、黙々と筆を運んで一字一字丁寧に書きました。平山和華さん（6年）は「漢字と平仮名のバランスが難しかった。緊張したけど良いのが書けて満足です」と話しました。

1/11 鷺野飛行場跡地でドライブインシアター



▲鷺野飛行場跡地で上映した映画「ローマの休日」

車の中から巨大スクリーンに映った映画を鑑賞する「ドライブインシアター」が1月8日から11日までの4日間、鷺野飛行場跡地で開催されました。ドライブインシアターは、それぞれの車内でラジオで音声を聴きながら鑑賞します。プライベートな雰囲気の中で特別感のある時間をカップルや家族連れなど多くの人々が楽しみました。

1/15 子どもたちの笑顔写真を宇宙へ



▲それぞれの将来の夢などを記載したボードを掲げる児童たち

全国約 200 校の小学生の笑顔写真で作ったモザイクアートをロケットに搭載して、国際宇宙ステーションへ打ち上げる「こども宇宙プロジェクト 2021 ～子どもたちと宇宙をつなぐ～」に市内 5 校の児童が参加しました。今後、専用サイトにて進捗状況が報告され、国際宇宙ステーションへ届けられたモザイクアートを宇宙飛行士が掲げるなどの動画が配信される予定です。

広告

広告